

おじやまします!

サーフィンクラブ
サクラ紹介

サーフィンを通じて
自然環境問題に取り組み

銚子サーフィングクラブ (CSC)

1989年に、これまで銚子に4チームあったサーフィングクラブを統合し設立されました。ことしで20周年を迎え、中学生から還暦サーファーまで会員数は60人余り。君ヶ浜海岸を拠点に、毎年4回のビーチクリーン活動やサーフィン大会を開催しています。昨年、日本サーフィン連盟主催の第43回全日本サーフィン選手権大会で、メンバーの白土勝久さんが全日本チャンピオンとなり、第26回大会の辻

浩二さん(現CSC会長)に続き2人目の全国制覇という快挙を成し遂げました。これまでに3人のプロサーファーを育て上げた歴史と伝統、実力ともに日本でも屈指のサーフィンチームです。ただ残念なことに、君ヶ浜海岸には護岸のために作られた人工リーフ(テトラポット)が海面下に投入され、サーフィンに適さない危険な海岸となつてしまいました。

「人間のエゴにより自然を破壊する行為は、そろそろ真剣に考えないと!」と、サーフィンを通じて自然環境問題にも真剣に取り組んでいるメンバーの皆さん。

チームの一員で、日本サーフィン連盟銚子支部代表の野口泰男さんは、「せっかくなら海に囲まれた銚子に住んでいる市民の皆さんも、ぜひ一度サーフィンを体験してみてください。きっと新たな価値観が見出されると思いますよ」と笑顔で話してくれました。



▲昨年、全日本チャンピオンに輝いた白土勝久さん(右)

市民文芸

俳句

春を待つ赤い小さな郵便受け
加瀬 トヨ(高田町)

園内をかけたこ三周春初め
常世田節子(松岸町)

花活けて最後を飾るかすみ草
吉田 叔子(栄町)

短歌

霧深き夜明けの空をほととぎすの
鳴き渡りゆく声のみ聞こゆ
石毛 嘉子(末広町)

美しくもうるむ瞳に大西洋
故郷に似たロカルの黄昏
加瀬 泰正(飯沼町)

晩秋の宿に駐めたるわが愛車
夕べの雨に落葉積みたり
小林 實(長塚町)



はるち
石神 陽斗くん
平成18年7月生(小浜町)
パパ=政則 ママ=裕子

いつまでも
その笑顔を
忘れずにいてね(^^)



たかね ふさきち
高根 房吉さん(89歳・新生町)

わんぱく登場・はつらつシニア
募集中です!

■わんぱく登場

小学校入学前のお子さんが対象です。
(これまでの3歳未満から対象を広げました)
くわしくは秘書政策課☎(24)8823へ

■はつらつシニア

おおむね85歳以上の元気な方を紹介します。
くわしくは高齢者福祉課☎(24)8754へ

息子の牛乳配達業を手伝い、1日300本の牛乳瓶のフタをとっています。元気の秘けつは、食事は腹7分目、常に体を動かす、感謝の気持ちを忘れないことです。市主催の運動教室にも週1回参加しています。